

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
家庭	家庭基礎	1	全	必修	2
使用教科書 ・副教材等	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） 生活学 Navi（実教出版） 家庭科ノート・調理実習ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）				
学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考査まで	○ オリエンテーション ○ 家庭クラブ活動紹介 1 自分らしい人生をつくる 1 生涯発達の視点 2 青年期の課題 3 目標を持って生きる 4 人生をつくる 5 家族・家庭を見つめる 6 これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭基礎の学習目標や学習方法を学ぶ。 ・家庭クラブ活動やホームプロジェクト学習の意義や方法について学ぶ。 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、男女が協力して家庭や地域の生活を営んでいく重要性について考える。 ・自立した生活を営むためには、適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることを理解する。
一学期期末 考査まで	2 子どもと共に育つ 1 子どもの育つ力を知る 2 親として共に育つ 3 子どもとの触れ合いから学ぶ 4 これからの保育環境 3 高齢社会を生きる 1 高齢期を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達と生活について理解し、親や家族、家庭生活が果たす役割について考える。 ・現代の子どもや子育て家庭を取り巻く環境について、その特徴や役割を理解するとともに、子どもの育つ環境や子育てを支援する環境の課題について考える。 ・日本の少子高齢社会の現状について理解する。
一学期中間 考査まで	○ ホームプロジェクト（夏季休業課題） 3 高齢社会を生きる 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの高齢社会 4 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる 8 経済生活を営む 1 職業生活を設計する 2 計画的に使う 3 国民経済・国際経済と家庭の経済生活 4 現代の消費社会 5 消費者の権利と責任 6 これからの消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から課題を見つけ、その解決方法を考え、実践する。 ・高齢期における心身の特徴と多様性を知り、誰もが安心して自立的な生活を送ることができる高齢社会を築くために、個人や家族、地域や社会の果たす役割について考える。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、共に支え合って生活するための課題について考える。 ・消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できるようにする。 ・生涯を見通した家計の管理の重要性を理解し、経済計画とリスク管理の必要性について考える。
二学期期末 考査まで	5 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の安全と衛生 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生涯を見通した食生活を営むことができるようにする。 ・食品の栄養的特質と調理上の性質について理解し、食の安全や衛生に配慮した調理技術を習得する。
学年末 考査まで	6 これからの食生活 7 住生活をつくる 1 住生活について考える 2 住生活の計画と選択 3 これからの住生活 6 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活の自立に向けた課題について考える。 ・生活の場としての住居の条件について考え、適切な住居の計画や選択ができるようにする。 ・安全・快適で、環境に配慮した住宅について関心を持つとともに、地域コミュニティとの共生について考える。 ・着用目的に応じた、健康で快適な被服の選択と着装の重要性を理解する。 ・被服の入手、洗濯、保管など衣生活を自ら管理するために必要な知識を習得する。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、ノート・ワークシートの整理状況で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ノート・ワークシートの記述、ホームプロジェクト、定期考査等で評価する。</p> <p>【技能】 実習の態度、ノートの記述、ホームプロジェクト、定期考査等で評価する。</p> <p>【知識・理解】 小テスト、定期考査等で評価する。</p>	